

平成20年度訪日外国人宿泊者数調査の概要

1 調査基本事項

(1) 調査内容

後志管内全20市町村の調査結果を基に市町村毎の宿泊施設等における宿泊外国人を集計。

(2) 調査対象期間

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(3) 調査項目

①国別宿泊実人数 ②国別宿泊延人数

参 考～宿泊施設等とは、旅館業法第2条の規定による次の施設及び船舶。

- ①ホ テ ル～シティホテル、リゾートホテル など
 - ②旅 館～旅館、公営宿泊施設 など
 - ③簡易宿所～ペンション、民宿 など
 - ④そ の 他～船舶（観光目的で入国した者が宿泊した場合のみ）
- ※上記の内、カプセルホテル、同伴ホテル等は除く。

2 調査結果概要

(1) 外国人宿泊延数の状況

管内の外国人宿泊延数は、対前年比98.6%、約4,000人減少の約284,000人となった。豪州や台湾は大きく数を減らしたが、台湾を除くアジアや、ヨーロッパ、北米等の国々では増加しており、今後の動向が注目される。

	宿泊延数	対前年比
H20年度	284,179人	98.6%
H19年度	288,156人	139.7%
H18年度	206,233人	105.1%

(2) 季節別外国人宿泊延数の状況

季節別で比較すると、春～秋季は増加しており、特に夏季は約2,000人の増加となったが、冬季は約7,000人の減少となった。

		春（4、5月）	夏（6～9月）	秋（10、11月）	冬（12～3月）
H20年度	宿泊延数	10,012人	48,539人	13,097人	212,531人
	構成比	3.5%	17.1%	4.6%	74.8%
H19年度	宿泊延数	9,565人	46,349人	12,439人	219,803人
	構成比	3.3%	16.1%	4.3%	76.3%
H18年度	宿泊延数	9,322人	37,111人	21,386人	138,414人
	構成比	4.5%	18.0%	10.4%	67.1%

(3) 宿泊延数上位5市町村（10,000人以上）

市町村別に比較すると倶知安町が約139,000人で5年連続の1位となったが、対前年比96.9%となり減少に転じた。また、ニセコ町も対前年比79.8%と、大幅に数を減らした。

		宿泊延数	対前年比	主要国	構成比
1位	倶知安町	139,083人	96.9%	豪83.7千人、香18.3千人、星7.8千人	48.9%
2位	留寿都村	49,725人	109.6%	韓16.0千人、星6.4千人、豪6.3千人、香6.3千人	17.5%
3位	小樽市	48,001人	107.8%	香17.7千人、台11.0千人、韓8.2千人	16.9%
4位	ニセコ町	31,609人	79.8%	香8.6千人、台5.4千人、豪3.5千人	11.1%
5位	赤井川村	15,061人	104.1%	香9.4千人、韓2.8千人、台1.6千人	5.3%

(4) 宿泊延数上位5カ国（10,000人以上）

国別で比較すると、豪州が5年連続で1位となったが、対前年比89.6%（-10,848人）と減少に転じた。台湾も、対前年比67.2%（-11,890人）と大幅な減少となった。

一方で、香港、韓国、シンガポールは、それぞれ、対前年比114.0%（+7,393人）、106.8%（+1,836人）、135.5%（+4,999人）と順調に推移している。

		宿泊延数	対前年比	平均泊数	構成比
1位	豪州	93,962人	89.6%	6.1泊	33.1%
2位	香港	60,318人	114.0%	1.5泊	21.2%
3位	韓国	28,861人	106.8%	1.7泊	10.2%
4位	台湾	24,369人	67.2%	1.1泊	8.6%
5位	シンガポール	19,062人	135.5%	1.6泊	6.6%

【豪州】

豪州は、これまでニセコエリアを中心に数字を伸ばしていたが、平成20年度は減少に転じた。市町村別の内訳は、全体の約9割が倶知安町となっている。

平均泊数は6.1泊で、他国が1～2泊台であるのと比較すると長期滞在の傾向となっている。

また、全体の98.2%が冬季（12月～3月）の来訪であるのも特徴である。

→対前年増減数～ -10,848人（主な内訳：留寿都村 -1,912人、ニセコ町 -3,083人、倶知安町 -5,838人）

【香港】

香港は、対前年比114.0%（+7,393人）と、引き続き堅調な伸びを示している。

市町村別では、倶知安町が18,290人で最も多く、小樽市が17,669人で、これに続いている。

全体の65.0%が冬季（12～3月）に集中しているのも特徴である。

→対前年増減数～ +7,393人（主な内訳：倶知安町 +5,425人、小樽市 +2,123人、ニセコ町 +633人、赤井川村 -379人、留寿都村 -404人）

【台湾】

台湾は、対前年比67.2%（-11,890人）と約3分の2に減少した。

市町村別では、小樽市が10,953人で最も多く、ニセコ町が5,372人、留寿都村が5,303人で続いている。しかし、ニセコ町と留寿都村では、それぞれ、対前年比40.5%（-7,878人）、53.9%（-4,539人）と大きく数を減らしている。

→対前年増減数～ -11,890人（主な内訳：小樽市 +1,068人、赤井川村 -1,073人、留寿都村 -4,539人、ニセコ町 -7,878人）

【韓国】

韓国は、対前年比106.8%（+1,836人）と、引き続き堅調に推移している。上期は対前年比94.8%と減少したが、下期は対前年比118.5%と増となった。

市町村別では、留寿都村が16,061人で最も多く、小樽市が8,190人で続いている。

→対前年増加数～ +1,836人（主な内訳：留寿都村 +4,003人、赤井川村 +2,170人、ニセコ町 -1,228人、小樽市 -2,668人）

【シンガポール】

シンガポールは、ここ数年で急激な伸びを示しており、平成19年度に初めて宿泊延数が1万人を超えた。平成20年度も、対前年比135.5%（+4,999人）と、引き続き順調に増加している。

市町村別では、倶知安町が7,839人で最も多く、留寿都村が6,440人でこれに続いている。

また、全体の9割弱が冬季（12月～3月）の来訪であるのも特徴である。

→対前年増減数～ +4,999人（主な内訳：倶知安町 +2,225人、留寿都村 +1,929人、小樽市 +508人、ニセコ町 +394人）

宿泊延数上位5カ国の過去5年間の推移

